



腸内検査 REPORT

サンプル様

2024.1.1

ORDERMADEplus株式会社

事前確認事項について

こちらは医療行為ではありません。

こちらは医療行為ではありません。医者の診断によるものではございませんので、治療に直結するものではございません。ご了承ください。あくまでも、最先端の菌の研究により分かることをレポートとしてお出ししているものになります。参考にさせていただき、専門家の指導の基改善などにお役立てください。

定期的に受けることをオススメいたします。

腸内細菌は、平均3ヶ月ごと調べていただき改善することをオススメいたしております。食事の改善などを始めると個人差はありますが、2週間ほどで変化を感じる方が多いです。正しく改善していくためにも定期的に受けることをオススメいたします。

記載されているアドバイスは改善を保証するものではありません。

こちらのレポートに記載されている内容は、改善を保証するものではありません。基礎疾患等で既に医療機関の指導を受けている場合や気になる症状がある場合は、医療機関を受診のうえ、医師の指導を優先してください。

転載・譲渡・類似品作成等は禁止としております。

こちらのレポートを転載・譲渡または類似品作成、類似と思われるような行為は一切禁止しております。レポートを基に指導できる専門家はORDERMADEplus株式会社に所属する専門家のみとなります。このレポートを使用し、他の専門家等別の人間が指導やサポート・助言等これらと思われるような行為も禁止となります。

目次

- 1 腸内（フローラ）環境総合判定
- 2 腸内フローラの観点からみた疾患リスク
- 3 腸内フローラの組成
- 4 個別注目菌
- 5 菌の割合
- 6 注目菌トップ3
- 7 改善ポイントトップ3
- 8 腸内フローラ検査結果資料添付

腸内フローラ（環境）総合判定

約1000種類以上

腸内フローラは、約1000種類以上の腸内細菌から構成されています。
まずは、腸内の全体のバランスに関する総合的な結果から見ていきましょう。

悪い傾向

前回：－

	目安	今回	前回
悪玉菌系	9%以下	17%	－
善玉菌系	4%以上	4.6%	－
病原性細菌群	0.5%以下	2.4%	－

コメント

善玉菌を含む細菌が4.6%と目安値より低いの比率を示し、悪玉菌を含む細菌が17%と目安値より高い比率、さらに病原性細菌群が2.4%であることから腸内環境は悪い傾向にあると考えられます。

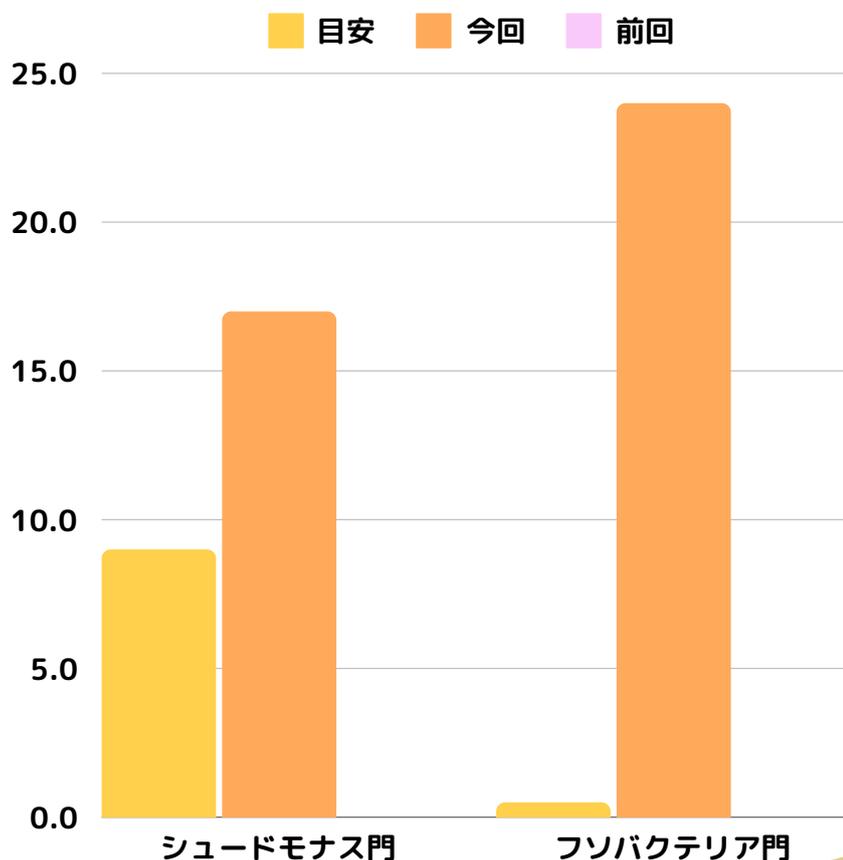
※目安：良好な傾向となる目安値

腸内フローラの観点からみた疾患リスク

※注意事項

あくまでも腸内フローラの観点のみから分かる疾患リスクとなります。現時点で、疾患の診断や今後の発症に必ずしも直結するものではありません。疾患の発症には、腸内環境意外にも様々な要因が関わっているため、それらの要因も踏まえた様々な観点が必要となります。

シュードモナス門	腸内寄生菌であり食中毒の原因菌であるカンピロバクターや、胃潰瘍や胃癌などの原因菌である胃定着性のピロリ菌、最も有名な大腸菌など、悪玉菌が多く含まれています。	17
フソバクテリア門	大腸癌の発症リスクの指標として知られているフソバクテリウム属の細菌など、病原性を示す細菌群を多く含んでいます。	2.4

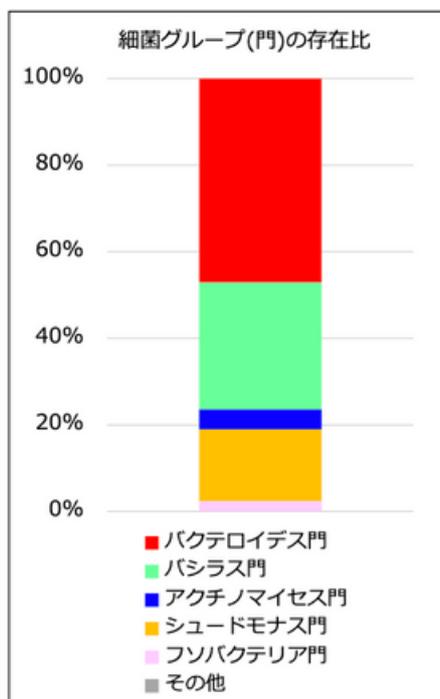


腸内フローラの組成

細菌グループ(門)	性質	存在比(%)
バクテロイデス門	ヒトの腸内に多く存在する腸内細菌叢の主要な構成菌であり、腸内の免疫系に重要な働きをしていると考えられている菌や肥満抑制に関与していると考えられている菌などが含まれます。	47
バシラス門	善玉菌の乳酸菌のほか、悪玉菌であるレンサ球菌、ウェルシュ菌（糞便の悪臭に関与）等も含まれており、また肥満促進に関与していると考えられている菌も含まれています。	29
アクチノマイセス門	様々な形状の細菌群や抗生物質をはじめとする様々な生理活性物質を産生する放線菌等を含むグループ。善玉菌として有名なビフィズス菌もこのグループに含まれています。	4.6
シュードモナス門	腸内寄生菌であり食中毒の原因菌であるカンピロバクターや、胃潰瘍や胃癌などの原因菌である胃定着性のピロリ菌、最も有名な大腸菌など、悪玉菌が多く含まれています。	17
フソバクテリア門	大腸癌の発症リスクの指標として知られているフソバクテリウム属の細菌など、病原性を示す細菌群を多く含んでいます。	2.4
その他	シネルギステス門、レンティスファエラ門、ウェルコミクロビウム門、マイコプラズマ門、プランクトミケス門などが含まれます。	0

今回

前回



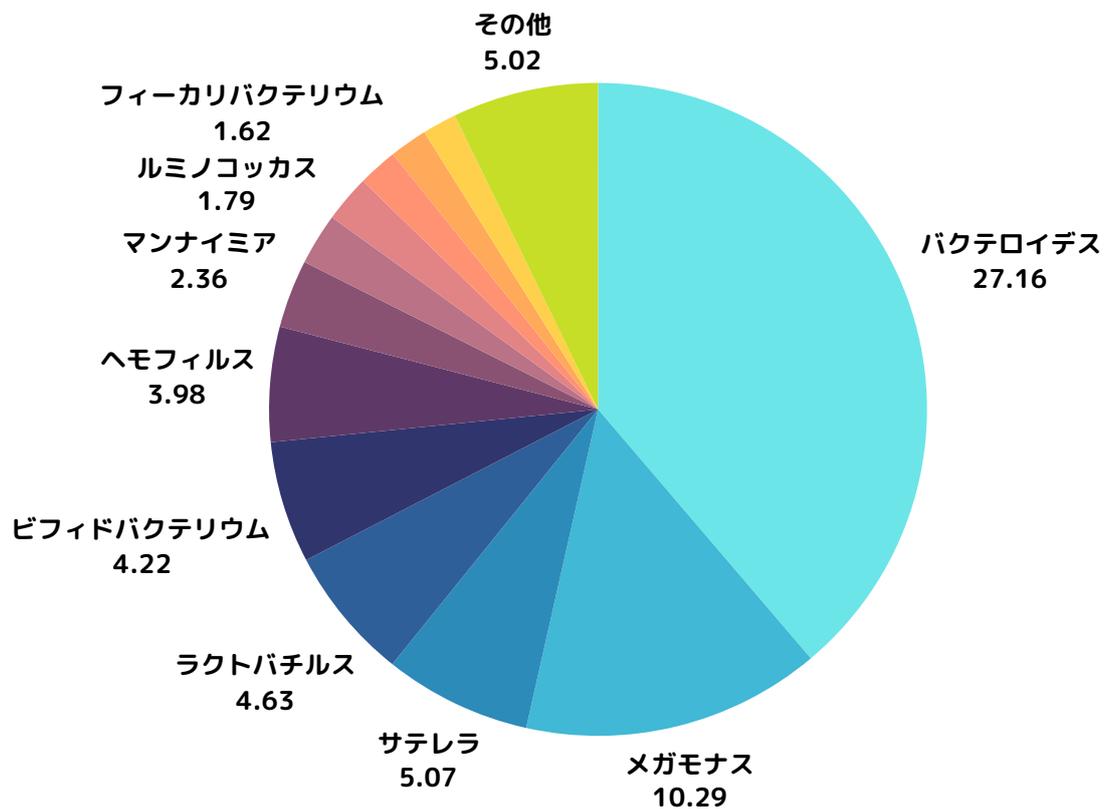
なし

個別注目菌

順位	名称	特徴
1	バクテロイデス (Bacteroides)	腸管免疫系において免疫活性作用を有する腸内細菌を構成する優勢菌のひとつ。よく眠れる「睡眠菌」。
2	メガモナス (Megamonas)	小児・青少年に最も一般的な非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)で増加がみられる。詳細は不明。
3	サテレラ (Sutterella)	糖の資化性がなく反応性に乏しく、宿主にどんな影響を与えるのか不明。
4	ラクトバチルス (Lactobacillus)	回腸嚢炎および胆管炎の臨床症状を軽減でき、さらに有害細菌を阻害する過酸化水素を産生する。
5	ビフィドバクテリウム (Bifidobacterium)	生理機能に有用なビフィズス菌を含み、整腸作用など全身性の疾患を改善する作用がある。
6	ヘモフィルス (Haemophilus)	インフルエンザ菌などの病原菌、日和見菌として感染症を引き起こす細菌群も含まれる。
7	マンナイミア (Mannheimia)	腸内常在菌。感染症の原因菌も含まれる。

菌の割合

今回

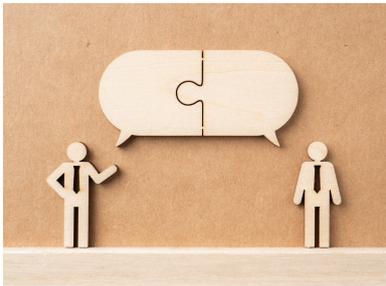


前回

注目菌 トップ3

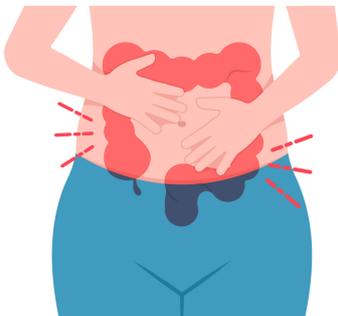
1. サテレラ

通称名：織細菌



気を遣う人が持っている。
慎重派。あがり症。緊張しやすい。

2. フソバクテリウム



大腸がんや大腸炎の原因菌となりうる菌。
0が望ましい。ファスティングが効果的。

3. スプレプトコッカス



肺がんの原因菌



早急に改善が必要！ トップ3

1. 善玉菌を増やすために、発酵食品を積極的かつ継続的にとりましょう。



感染症の原因となる菌が多くいますので、腸内環境を良くする必要があります。

善玉菌である乳酸菌や納豆菌、酪酸菌（らくさんきん）を増やすと、感染菌も働かなくなります。

そのためにも、発酵食品を積極的に取り入れましょう。

食事に、味噌汁や納豆、お漬物（ぬか漬け）、キムチ、ナッツ類などを継続的に取り入れましょう。

2. 野菜の摂取量を増やしましょう。



和食を中心に、お野菜をしっかり取ることで、お腹の善玉菌が増え、悪玉菌が働きにくくなります。

毎食、お野菜のおかずをプラスしてみましょう。

3. 歯の手入れをこまめにしましょう。



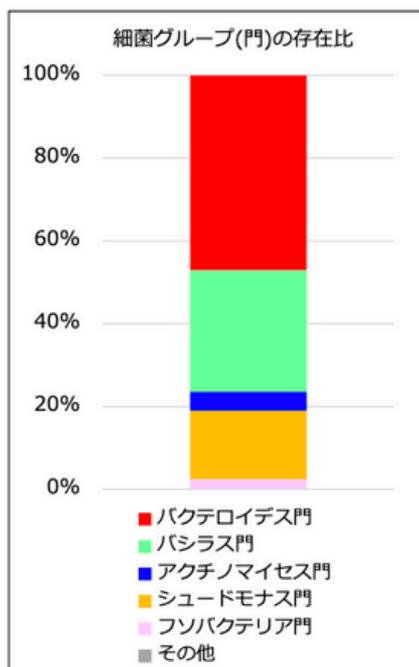
歯石・歯垢の中には歯周病や病気の原因菌が隠れています。

歯の手入れをこまめに行いましょう。

また、殺菌剤の入っていない歯磨き粉の使用をおすすめします。

腸内フローラ検査結果資料添付

細菌グループ(門)	性質	存在比(%)
バクテロイデス門	ヒトの腸内に多く存在する腸内細菌叢の主要な構成菌であり、腸内の免疫系に重要な働きをしていると考えられている菌や肥満抑制に関与していると考えられている菌などが含まれます。	47
バシラス門	善玉菌の乳酸菌のほか、悪玉菌であるレンサ球菌、ウェルシュ菌（糞便の悪臭に関与）等も含まれており、また肥満促進に関与していると考えられている菌も含まれています。	29
アクチノマイセス門	様々な形状の細菌群や抗生物質をはじめとする様々な生理活性物質を産生する放線菌等を含むグループ。善玉菌として有名なビフィズス菌もこのグループに含まれています。	4.6
シュードモナス門	腸内寄生菌であり食中毒の原因菌であるカンピロバクターや、胃潰瘍や胃癌などの原因菌である胃定着性のピロリ菌、最も有名な大腸菌など、悪玉菌が多く含まれています。	17
フソバクテリア門	大腸癌の発症リスクの指標として知られているフソバクテリウム属の細菌など、病原性を示す細菌群を多く含んでいます。	2.4
その他	シネルギステス門、レンティスファエラ門、ウェルコミクロビウム門、マイコプラズマ門、プランクトミケス門などが含まれます。	0



検査結果 (目安: 良好傾向となる目安値)

- ① 善玉菌を含む**アクチノマイセス門**の細菌：
4.6% (目安 4%以上)
- ② 悪玉菌を多く含む**シュードモナス門**の細菌：
17% (目安 9%以下)
- ③ 病原性細菌を多く含む**フソバクテリア門**の細菌：
2.4% (目安 0.5%以下)
- 総合評価：
腸内環境は悪い傾向にあると考えられます。

用語説明

- **細菌グループ(門)**：生物の分類学的階級の1つ。生物は上位から界、門、綱、目、科、属、種に分類されており、「門」は「界」に次いで多くの生物分類群を含む。例、「レプトトリキア・ブッカリス」の分類→ 細菌[界]フソバクテリウム[門]フソバクテリウム[綱]フソバクテリウム[目]レプトトリキア[科]レプトトリキア[属]ブッカリス[種]
- **存在比**：検体から検出された細菌全体(100%)に対する各細菌グループ(門)の割合(%)。疫学的調査の途中にあり一般性のある基準値は定められていません。

腸内フローラ検査結果資料添付

主な細菌 (属)			
学名(和名)	リード数	存在比(%)	特徴
<i>Bacteroides</i> (バクテロイデス)	24,670	27.16	腸管免疫系において免疫活性作用を有する腸内細菌叢を構成する優勢菌のひとつ。
<i>Megamonas</i> (メガモナス)	9,350	10.29	小児・青少年に最も一般的な非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)で増加がみられる。詳細は不明。
<i>Sutterella</i> (サテラ)	4,608	5.07	糖の資化性がなく反応性に乏しく、宿主にどんな影響を与えるのか不明。
<i>Lactobacillus</i> (ラクトバチルス)	4,209	4.63	回腸囊炎および胆管炎の臨床症状を軽減でき、さらに有害細菌を阻害する過酸化水素を産生する。
<i>Bifidobacterium</i> (ビフィドバクテリウム)	3,836	4.22	生理機能に有用なビフィズス菌を含み、整腸作用など全身性の疾患を改善する作用がある。
<i>Haemophilus</i> (ヘモフィルス)	3,616	3.98	インフルエンザ菌などの病原菌、日和見菌として感染症を引き起こす細菌群も含まれる。
<i>Mannheimia</i> (マンナイミア)	2,140	2.36	家畜の疾病に関与しているが、ヒトへの影響は不明。

その他の細菌 (属)		
学名(和名)	リード数	存在比(%)
<i>Faecalibacterium</i> (フィーカリバクテリウム)	1,624	1.79
<i>Fusobacterium</i> (フソバクテリウム)	1,469	1.62
<i>Pseudobutyryivibrio</i> (シュードブチリビリオ)	1,241	1.37
<i>Streptococcus</i> (ストレプトコッカス)	1,182	1.30
<i>Roseburia</i> (ロゼブリア)	1,074	1.18
<i>Megasphaera</i> (メガスファエラ)	908	1.00
<i>Parabacteroides</i> (パラバクテロイデス)	843	0.93
<i>Blautia</i> (ブラウチア)	623	0.69
<i>Ruminococcus</i> (ルミノコッカス)	393	0.43
<i>Gemmiger</i> (ジェンミゲル)	390	0.43
<i>Veillonella</i> (ベイロネラ)	386	0.43
<i>Paraprevotella</i> (パラプレボテラ)	373	0.41
<i>Clostridium</i> (クロストリジウム)	224	0.25
<i>Lachnoclostridium</i> (ラクノクロストリジウム)	220	0.24
<i>Eubacterium</i> (ユウバクテリウム)	214	0.24
上記以外の少数細菌(属)群	987	1.09
判定不能	26,243	28.89
総数 =	90,823	100

■: 善玉 ■: 善玉の可能性 ■: 悪玉 ■: 悪玉の可能性 ■: 不明

用語説明

属: 生物の分類学的階級の1つ。上位から界、門、綱、目、科、**属**、種に分けられています。
例、動物[界]脊索動物[門]哺乳[綱]サル[目]ヒト[科]ヒト(種)[属]ヒト(種・牒°) [種]

学名: 生物学の手続きに基づき、世界共通で生物の種および分類に付けられる名称。
ラテン語で表記され、字体はイタリックとするのが一般的。

補足: 検査結果は「属」レベルで評価しており、属名が表記されていますが、「種」レベルまで表記する場合は、属名に加えて種形容語を付記して表記されます(例、種・牒°)。この表し方を二名法といい、分類学の父カール・フォン・リンネにより体系化されました。

リード数: 菌叢解析において検出したその菌種の16SrRNA遺伝子配列の数(存在量の目安)。菌叢とは一定範囲内(腸内、口腔内等)に存在する様々な細菌種を指します(植物種の場合をフローラといい、腸内での細菌叢をお花畑に例えて腸内フローラというようになりました)。16SrRNA遺伝子配列とは、細菌種を同定するために解読対象となるその菌種に特徴的なDNA塩基配列を指します。

存在比: 判定不能を含めたリード数の合計(総数)に対する各細菌(属)のリード数の割合(%)。

分類: 細菌(属)の特徴から示唆される善玉性または悪玉性の区別。

判定不能: 得られた細菌の配列データ(16SrRNA遺伝子配列)の中で、データベースとの照合による細菌の分類において、属レベルまで同定できなかった配列や全く未知の配列を含みます。



OH!!子育て
OH!! KOSODATE



ORDERMADEplus株式会社

東京都中央区銀座一丁目22番11号 銀座大竹ビジデンス 2F
info@ordermadekosodate.com